

# セチルピリジニウム塩化物トローチ2mg「イワキ」※※

Cetylpyridinium Chloride Troche 2mg "IWAKI" ※※

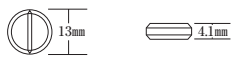
貯法：室温保存

使用期限：外箱に記載

{セチルピリジニウム塩化物水和物（塩化セチルピリジニウム）トローチ} ※

承認番号	22500AMX00958
薬価収載	2013年12月
販売開始	2013年12月
再評価結果	1980年8月

## 【組成・性状】

組	※成分・含量 (1錠中)	セチルピリジニウム塩化物水和物 (塩化セチルピリジニウム) 2mg
成	添加物	精製白糖、ポピドン、ヒドロキシプロピルセルロース、 カルボキシニルポリマー、ステアリン酸 Mg、香料
性 状	色・剤形	白色のトローチ剤
	形状	
	※※ 識別コード (包装記号)	CP

## 【効能・効果】

咽頭炎、扁桃炎、口内炎

## ※【用法・用量】

セチルピリジニウム塩化物水和物（塩化セチルピリジニウム）として、通常1回2mg（本剤1錠）を1日3～4回投与し、口中で徐々に溶解させる。  
なお、症状により適宜増減する。

## 【使用上の注意】

### ※※1. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

種類 \ 頻度	頻度不明
過敏症 <sup>注)</sup>	発疹等
口 腔	口腔、咽頭の刺激感等

注) 投与を中止すること。

### 2. 適用上の注意

- 本剤は口腔内で唾液により徐々に溶かしながら用いるもので、噛み砕いたり呑み込んだりせずできるだけ長く口中に含んで有効成分が口腔内に長時間保たれるようにすること。
- 薬剤交付時：  
PTP包装の薬剤はPTPシートから取り出して服用するよう指導すること。（PTPシートの誤飲により、硬い鋭角部が食道粘膜へ刺入し、更には穿孔をおこして縦隔洞炎等の重篤な合併症を併発することが報告されている。）

## 【臨床成績】

急・慢性咽頭炎、扁桃炎141例に1日4錠、4日間服用させた場合の有効率は83.6%であった<sup>1)2)</sup>。

## 【薬効薬理】

1. 口中で頻繁に遭遇する病原細菌である溶血性連鎖球菌や黄色ブドウ球菌<sup>3)</sup>またカンジダ等の真菌<sup>4)</sup>にも試験管内で強力な殺菌作用を示す。

※※2. 健康成人男子5名にセチルピリジニウム塩化物トローチ2mg「イワキ」1錠（セチルピリジニウム塩化物水和物（塩化セチルピリジニウム）として2mg）を服用させ、口内で溶かし滅菌生食水で口内を洗浄させた。この洗液を検体とし、使用前に対する細菌数を比較した結果、減少率は30分で75.4%、60分で64.4%、120分で52.5%であり、服用後30分で最大減少を示した<sup>1)</sup>。

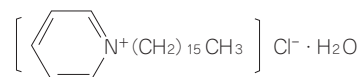
## 【有効成分に関する理化学的知見】

※一般名：セチルピリジニウム塩化物水和物（塩化セチルピリジニウム）  
(Cetylpyridinium Chloride Hydrate)

化学名：1-Hexadecylpyridinium chloride

分子式：C<sub>21</sub>H<sub>38</sub>ClN · H<sub>2</sub>O

構造式：



性状：白色の結晶又は結晶性の粉末で、においはないか、又はわずかに特異なにおいがあり、味は苦い。水、エタノール又はクロロホルムに溶けやすく、アセトンにほとんど溶けない。

### ※※【取扱い上の注意】

#### 安定性試験<sup>5)</sup>

最終包装製品を用いたなりゆき室温（通常の流通下における保存条件）、4年間の長期保存試験の結果、外観及び含量等は規格の範囲内であり、セチルピリジニウム塩化物トローチ2mg「イワキ」は通常の市場流通下において4年間安定であることが確認された。

## 【包 装】

1000錠

## 【主要文献及び文献請求先】

### 〈主要文献〉

- 古市暢夫ほか：薬理と治療 4, 1874(1976)
- 牛嶋申太郎ほか：基礎と臨床 12, 3678(1978)
- Benjafield N. B. et al : Lancet 269, 1301(1955)
- Clausen O. G. : Pharm. Ind. 35, 726(1973)
- 岩城製薬株式会社 社内資料（安定性試験）

### 〈文献請求先〉

主要文献に記載の社内資料につきましても下記にご請求下さい。  
岩城製薬株式会社 学術部  
〒103-8434 東京都中央区日本橋小網町 19-8  
TEL 03-3668-1574  
FAX 03-3668-5282